

## 新入留学生歓迎会開催される



## 目次：

新入留学生歓迎会 P1  
開催される国際交流会開催さ  
れるアメリカ提携校～  
交換留学生帰国前  
インタビュー① P2アメリカ提携校～  
交換留学生帰国前  
インタビュー② P3交換留学生紹介  
韓国・湖西大学校  
イム・スンヒョン  
さん P4留学生在籍状況  
お知らせ P4

今年度も、4月22日（水）のお昼休みに「新入留学生歓迎会」が行われました。今年は84名の新入留学生が聖学院大学に入学しました。このイベントは、留学生同士だけでなく日本人学生とも知り合い、お互いの交流を深める場として定着しつつあります。当日は、学生・教職員を含む74名が集い、用意された昼食を食べながら自己紹介をしたり、それぞれの国の言葉や文化について歓談しました。



また、上級生の留学生数名が新入留学生のメンター役として会に参加。国際交流同好会「まのと」の活動紹介と勧誘の挨拶がなされ、和やかな雰囲気の中、会が閉じられました。聖学院大学では、今回の歓迎会を含め、国際交流会や留学生弁論大会など、留学生のみならず、日本人学生も参加し、交流のきっかけとなるイベントを毎年企画しています。年々国際色豊かになりつつあるこのキャンパスで、国境を越えた出会いと友情が育まれていくことを期待しています。

## 国際交流会開催される

毎年恒例の「国際交流会」が6月10日（水）アセンブリーアワーに開催されました。聖学院大学では13の国と地域から来た約240名の留学生が学んでいます。この日は各国の留学生がクイズ形式で自国の文化を紹介しました。発表には合計6ヶ国がエントリーし、ベトナムは料理、メキシコは歴史と文化、台湾は映画、中国は雲南省、アメリカは交換留学生の大学についてそれぞれクイズを出題し、正解者には賞品としてその国の特産品が贈られ、最後に参加者向けの解説が加えられました。

会の終わりには、ネパールの学生からネパール大地震についての報告があり、募金への協力が呼びかけられました。また、懇親会ではベトナムの竹を使ったダンス、アメリカからの交換留学生によるバイオリンのパフォーマンスが披露され、懇親のひと時に彩りが添えられました。

この会を通して、留学生同士の交流が深められただけでなく、日本人学生にとっても、留学生と身近に接することによって、真の国際交流を体感するよい機会になったに違いありません。来年もぜひご参加ください。



発表者



懇親会の様子



ベトナムの竹を使ったダンス



## アメリカ提携校交換留学生 帰国前インタビュー特集

2014年度秋学期～2015年度春学期にかけて本学アメリカ提携校より2名の交換留学生を受け入れました。日本での長期留学は初めてのお2人でしたが、大学近隣の日本人家庭にホームステイし、大学では日本語の授業や興味のある科目の授業を日本語で受講。そのため、帰国前には日本語能力が来日当初に比べてはるかに上達したことが感じられました！チャレンジ精神旺盛で日本が大好きなお2人に日本での留学生活についてインタビューしました。

ラグレインジ大学から  
日本文化学科に1年間留学  
ウィリアム・サンドバーグさん



**Q: 日本に留学することになったきっかけは？**

**A:** 小さい頃、お友達のお母さんが日本人で、色々日本のことを聞いていて興味を持ち始めました。高校時代は音楽が好きでその道に進みたいと思うようになりましたが、同時に日本の音楽にも興味があって、日本で音楽を勉強する希望を持ちました。家庭環境が国際色豊かで（家族で1ヶ月イタリアへ出掛けたり、日本人学生のホストファミリーを引き受けたりなど）、自然と海外に目が向くようになっていたと思います。

**Q: カルチャーショックはありましたか？**

**A:** 昔から日本については良く知っていたので、ショックというか、「本当にそうなんだな」と納得することが多かったです。例えば、朝の通勤ラッシュを実際に見て驚きました。また、実際日本で暮らしみて、日本には古い歴史と新しい技術の両方が存在している独特の良さを感じました。

**Q: 聖学院の授業はどうでしたか？**

**A:** 秋学期から留学に来たので、他の春学期から学んでいる留学生と比べて、授業は難しいと感じました。しかし、2学期目は少し自信がついて授業にもついていけるようになりました。「日本の音楽」という授業は留学生用の授業ではなく、他の日本人学生に交じって授業を受けました。大変でしたが、担当の先生の配慮で授業のレジュメを事前にもらえたので、分からない言葉などを事前に調べてから講義を聴くことができて助かりました。



書道の授業での1コマ



国際交流会での発表の様子

**Q: 日本語の勉強方法を教えてください。**

**A:** 授業で習う文法や単語を実際に会話で使うようにすること。あとは、日本の友達との会話で分からない言葉がでてきたら友達と一緒にスマートフォンの辞書で調べていました。実際友達とのメールやLINEで漢字を覚えることができましたね。

**Q: 日本での思い出は？**

**A:** 1つを選ぶのは難しいですね…。ホームステイでは色々な思い出ができました。年末年始は日本にいたので、アメリカとは違った日本独特のお正月の過ごし方を体験でき楽しかったです。1月に袴を履き、刀をさした写真を撮りました。また、ホームステイでは、様々な国からの学生が滞在していて、国際的な交流ができたのも思い出です。

**Q: アメリカに帰国してからの目標は？**

**A:** 日本の大学院に行きたいと思っているので、日本語をもっと勉強したいです。

**Q: 最後に一言お願いします。**

**A:** 聖学院はとても良い大学だと思いますが、自分からチャレンジすれば更に多くの可能性が広がる大学だと思います。1年間留学を受け入れてくださりありがとうございました。



バイオリンを弾くウィリアム







ホープ大学から  
日本文学科に1学期間留学  
マッケンジー・コイルさん

**Q: 日本に留学することになったきっかけは？**

**A:** 子どもの頃からアジアの歴史や文化について興味を持ちながら育ちました。日本語は第二外国語として学びはじめ、ホープ大学でも日本語を専攻しています。出身地であるミシガン州ホーランド市に日本人は少なく、留学することによって日本語を実際に使いながら上達させたいという希望を持っていたからです。

**Q: カルチャーショックはありましたか？**

**A:** アメリカ人の所作は日本に比べてほとんどの場合カジュアルであることが多いのですが、日本は様々な場面で丁寧だと感じました。例えば、おじぎやお礼、敬語など慣れるのに時間がかかりました。また、アメリカではほとんど車の移動ばかりしていたので、日本の鉄道の路線の複雑さには驚きました。乗り換えなどが難しかったですが、半年生活してだいぶ慣れました。



日本語のクラスメートと



ホームステイ先でのお別れ会

**Q: 聖学院の授業はどうでしたか？**

**A:** 先生や友達は優しく、授業自体の雰囲気がとても良かったです。ほとんどの授業は少人数クラスでしたが、友達と冗談を言い合ったり、楽しく学べたことが思い出です。

**Q: 日本語の勉強方法を教えてください。**

**A:** 一番に、間違いを恐れずチャレンジすることです！間違っていることが分かれば、訂正して、正しい日本語の使い方を覚えること。日本にいる間は極力日本語で生活するように心がけていました。もう一人のアメリカ人交換留学生と同じホームステイ先で暮らしていましたが、日本語で会話するようにしていました。

**Q: 日本での思い出は？**

**A:** 色々ありますが、まずは日本の名所を旅行できたこと。京都や日光を家族や友達と観光しました。次にホームステイでの体験です。ホストファミリーの粕谷さんのおかげで、着物を着たり、夏は流しそうめんや宮原のお祭りでの神輿担ぎを体験することができました。また、ホームステイを通して日本での普段の生活を体験できたのも思い出です。ホストマザーとは、夕食の後に一緒にテレビのニュースを観たり、朝コーヒーを淹れてあげたり、日常生活を共にすることで仲良くなりました。

**Q: アメリカに帰国してからの目標は？**

**A:** 来年5月にホープ大学を卒業したら、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）で再び来日し、英語を教える仕事に就くのが夢です。東日本・西日本・北海道とまだまだ訪れたことのない日本各地があるので、今度住むなら日本の田舎を選んで、田舎暮らしを体験してみたいです。

**Q: 最後に一言お願いします。**

**A:** 聖学院大学で素晴らしい経験をすることができました。ありがとうございました。ホープ大学の友達にも聖学院大学の良さを宣伝したいと思います！



餅つきを体験



お神輿を体験



日本のお母さんと



ほ そ

## 湖西大学校・交換留学生紹介～イム・スンヒョン(Lim SeungHyun)さん



2015年度秋学期より1学期間人間福祉学科に交換留学中のイム・スンヒョンさんをご紹介します。

イムさんはお父さんが日本と取引のある関係のお仕事をされていることから、日本文化や日本語を身近に感じられ、日本への留学を希望されるようになりました。キリスト教主義の大学を探す中で聖学院大学を留学先に決めたそうです。湖西大学校での専攻は社会体育学科。ウェイトトレーニングが得意なスポーツマンでもあります。

日本留学中は大学近隣のホストファミリー宅に滞在しながら大学に通っています。将来は、日本語のスキルを上げて、大学卒業後にお父さんの仕事を継ぎたい希望を持っているそうです。

好きな日本食は豚カツ。日本で行ってみたい場所は大阪や九州。特に大阪の人のフレンドリーな姿に出会ってみたいと話してくれました。交換留学は秋学期のみなので、長く日本にいられませんが、キャンパスで見かけたら是非声を掛けてください。

### 湖西大学校(韓国) Hoseo University (KOREA)

大学の場所: 韓国 忠清南道 牙山市  
創立: 1978年  
学生数: 約18,000名  
特色: 政府からベンチャー特性化大学として支援を受けている。キリスト教を理念に掲げる総合大学。5つの単科大学(20学部)を擁します。



## 外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計		国籍名	合計
1	中国	167	8	スリランカ	1
2	韓国	5	9	ミャンマー	1
3	台湾	2	10	インドネシア	1
4	ネパール	5	11	セネガル	1
5	ベトナム	37	12	メキシコ	1
6	マレーシア	1	13	タジキスタン	1
7	タイ	2	2015年10月1日現在		225

### 学内スピーチコンテストのお知らせ

◆11月14日(土) 13:30~17:00  
第11回高校生英語スピーチコンテスト  
〔高等学校在校生対象〕  
テーマ「よく生きる-Living Well-」

◆12月2日(水) 11:00~12:30  
第13回聖学院大学留学生日本語弁論大会  
テーマ  
「世界の中の日本-私のイメージ」  
「私の異文化体験」 「未来の私」  
「私の主張」

◆12月9日(水) 11:00~12:30  
第9回聖学院大学英語スピーチコンテスト  
〔在校生対象〕  
テーマ

“My Experience” “My Dream” “My Belief”

## お知らせ・イベント

- 9月 秋入学式・卒業式
- 10月 秋の留学生ガイダンス  
夏期海外研修帰国報告会  
春期海外研修募集開始
- 11月 春期海外研修締切・面接  
第11回高校生英語スピーチコンテスト
- 12月 第13回聖学院大学留学生日本語弁論大会  
第9回聖学院大学英語スピーチコンテスト
- 1月 春期海外研修準備講座
- 2月 春期海外研修出発
- 3月 春期海外研修帰国  
卒業式 留学生ガイダンス



SEIGAKUIN  
UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流・英語教育課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

8号館1階 TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月～土 9:00～11:10, 12:10～17:00